

# 最近の雇用情勢について

(平成30年12月)

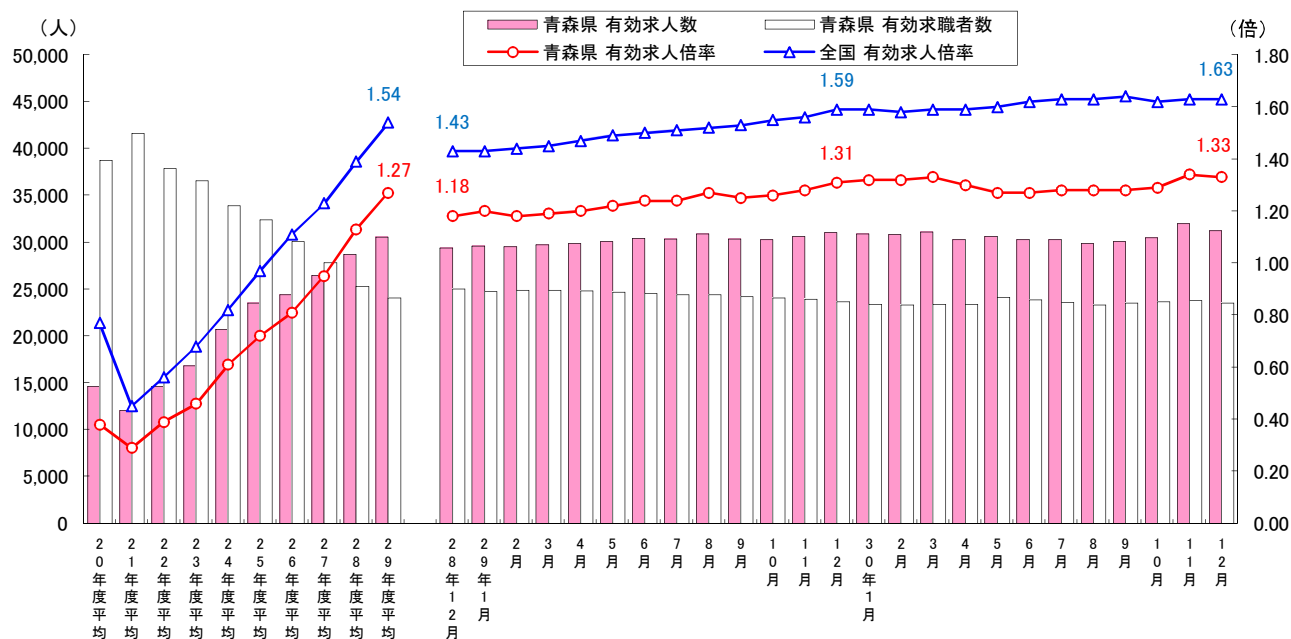
青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

12月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.4%減少し31,208人、有効求職者数(同)は1.1%減少の23,546人で、有効求人倍率(同)は1.33倍となり、前月に比べ0.01ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.45倍と前月より0.01ポイント上回り、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

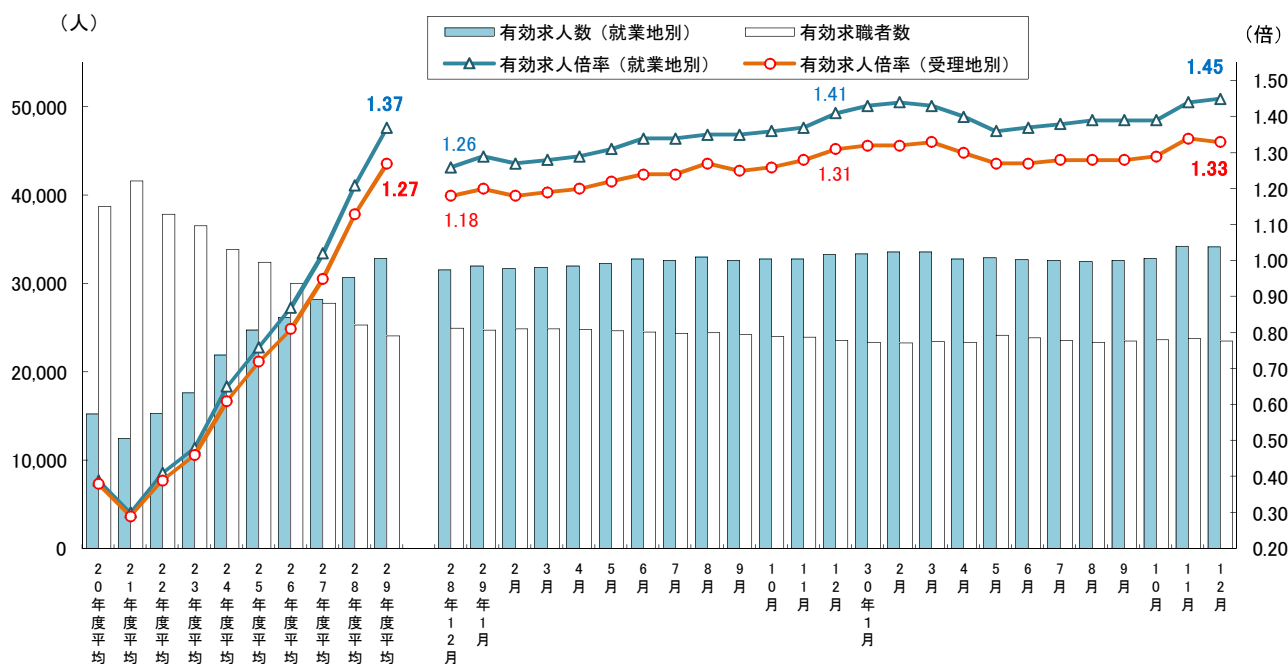
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

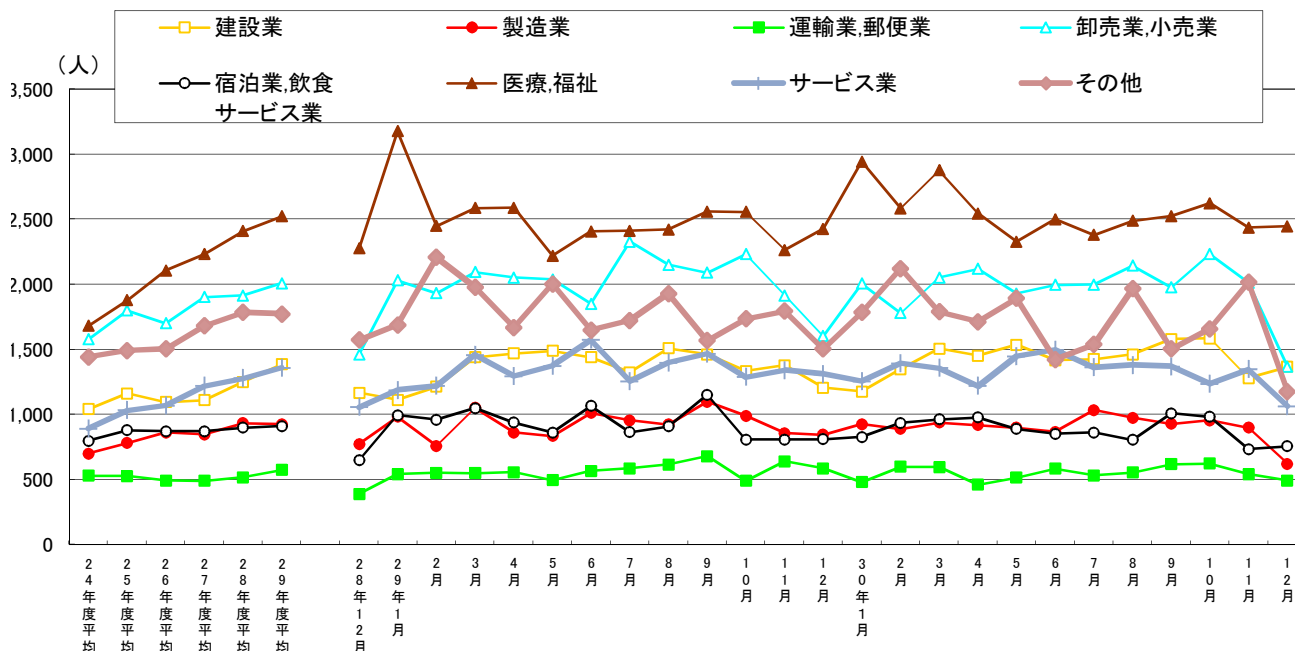
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

12月の新規求人数(原数値)は前年同月比9.7%(997人)減少の9,298人。

主な産業別で前年同月と比較すると、農、林、漁業、建設業、医療、福祉、複合サービス事業等で増加し、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、卸売業、小売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、印刷・同梱連業、情報通信機械器具製造業等で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



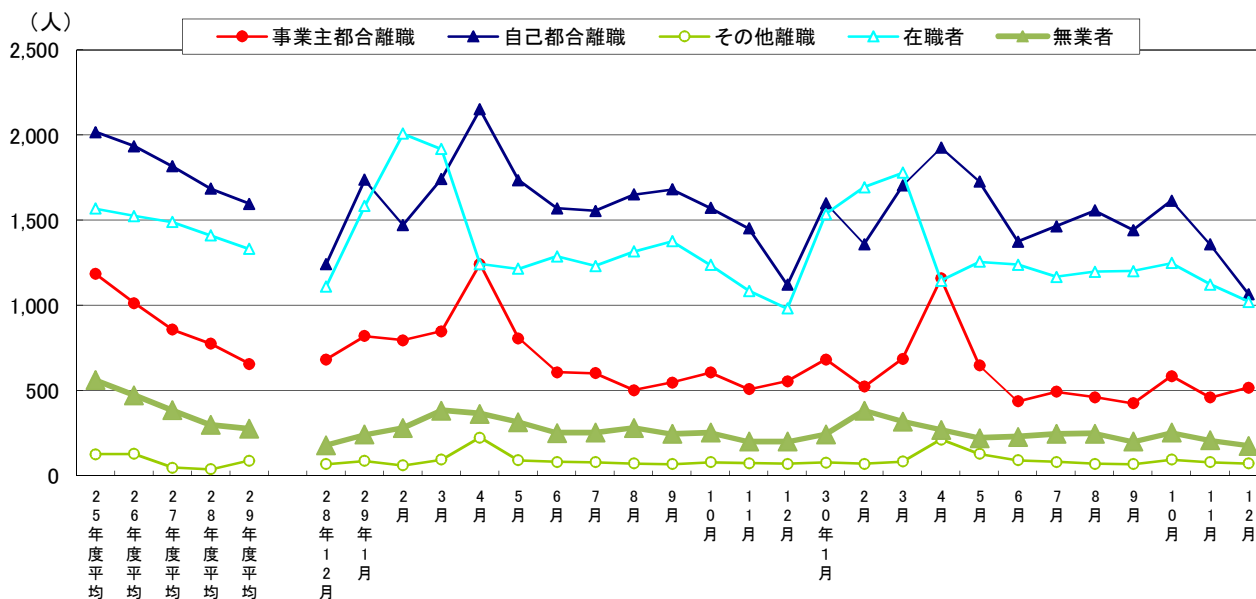
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農、林、漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

12月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比2.6%(77人)減少の2,853人。

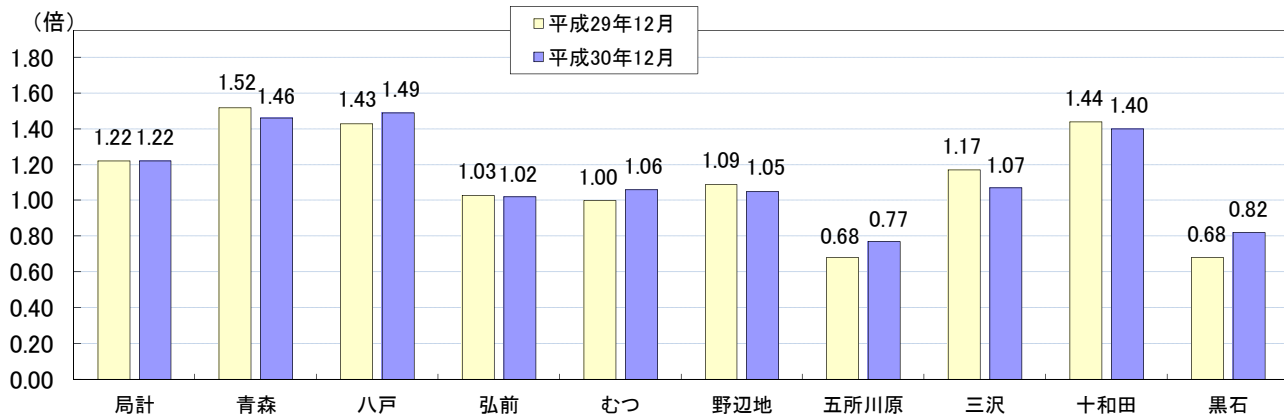
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は4.1%(40人)増加し、無業者は12.4%(25人)、離職者は5.3%(92人)減少し1,655人となった。

離職理由でみると、事業主都合は6.8%(38人)、自己都合は5.0%(56人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

12月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.22倍となり、前年同月と同水準となった。  
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



H30.12	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,638	6,083	5,055	4,331	1,363	968	2,242	1,233	1,105	1,258
有効求人数	28,930	8,873	7,535	4,436	1,450	1,015	1,727	1,323	1,543	1,028

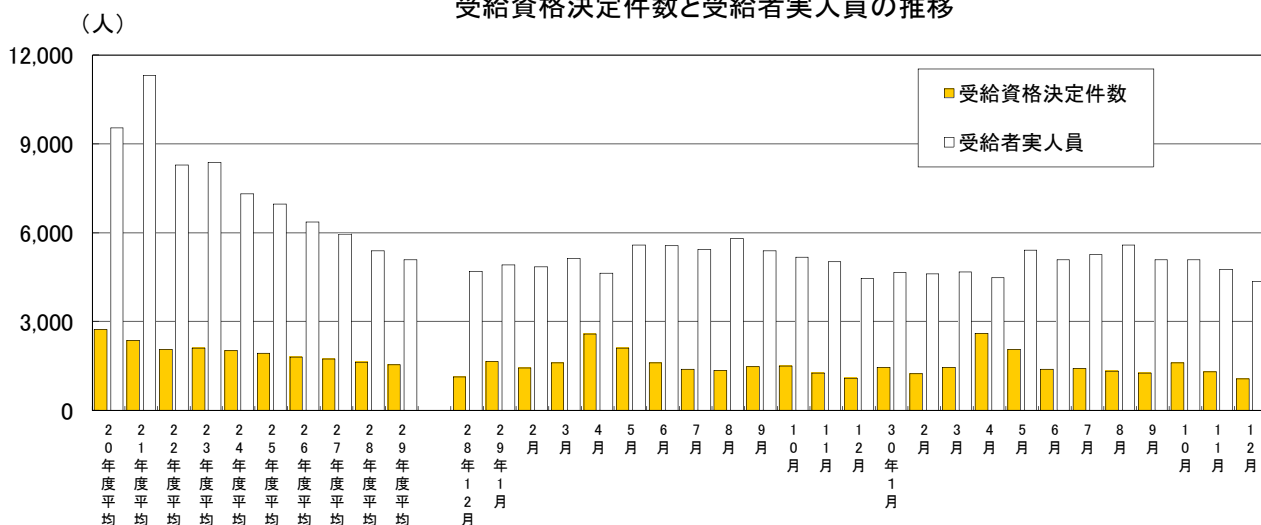
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

12月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比2.5%(112人)減少、前月比では8.6%(410人)減少の4,360人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.9%(21件)減少、前月よりも18.3%(238件)減少し1,066件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比60.8%(121人)増加、前月比31.7%(77人)増加し320人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

